

菱源(株) (岩田吉光社長) は、明治4年創業の老舗中の老舗印刷会社である。長い歴史を誇る企業であるが、研究心は非常に旺盛でもある。平成15年にUVフレキソ印刷機を導入、商業印刷分野での活用を始めた。その技術は高い評価を受け、2年後にはヨーロッパで高名な賞も受賞している。また、フレキシソのエンドレス版を使用した「くるくるロール」は、エンドレスの絵柄が評価され、色々な用途での受注がある。

そして、もう一つの特筆すべき技術に偽造防止印刷がある。長い歴史に培われた技術とアイデアで多種多様な顧客ニーズに応えている。

得意“技”

フレキシソ印刷とオフセットの融合 新たな市場を開拓



大好評を得ている「くるくるロール」

同社は、100年を超える歴史に培われた技術と最先端設備、そして、飽くなき探求心を武器に新たな市場開拓に挑んでいる。岩田社長は、「現在は企業の歴史とその技術だけでは仕事は頂けません。お客様ニーズに如何に応えるか。お客様にどんな提案ができるかが求められています」。

お客様ニーズを見据えた展開の一つがフレキシソ印刷である。2005年から取り組み、高い技術を蓄積している。

「フレキシソは、オフセットよりベタが綺麗、グラビアより文字や線がシャープ、VOCを含む溶剤を使用しないUVインキが使用環境にやさしい、オフセットよりUVニスの光沢度が優れているなどの優れた特長を

持っています。また、エンドレス版は、絵柄の切れ目のない印刷ができ、その特長を活かしたのが「くるくるロール」です。これは、キャンペーンや催事のディスプレイなどに使われています。エンドレス版の新たな仕事として500mm幅の包装紙もあります」と岩田社長。

「くるくるロール」は、ロールに



イベント用の紙製品のおもちゃ

なったテープ状のPOPで、視認性、訴求性に優れ、最大500mm幅、周長609mmの連続給柄で1000m超えの印刷も可能。使用状況に合わせて幅・長さを自由にカットでき、周長ごとにミシン目も入れられる。一般紙からユボ・タック紙(粘着紙)にも印刷でき、両面印刷も可能である。

もう一つの優れた技術に偽造防止の「セキュリティ印刷」がある。金券、商品券、地域振興券、回数券、入場券、各種チケットなど、利用範囲は広い。特殊光沢やマット加工、擬似エンボス加工、金・銀インキ、蓄光インキ、パールニス、さらに、微小文字や極細線など、偽造防止効果に最適な技術である。

■新たな展開

フレキシソとオフセットを使用した展開も始めている。フレキシソで下色を印刷、オフセットのH-UV印刷機で絵柄を印刷したパッケージは、特殊紙を使用するより低コストでお客様に提供することができる。また、新しい商品としては、布地やタイルなどのサンプル帳の製作や高級絵馬卓上カレンダーの販売などがある。この絵馬カレンダーは、限られた神社以外では、同社が優先的に仕入れ販売できる品物で、絵馬の両面には縁起物の絵と12か月が印刷され、高級感が漂う卓上カレンダーとなっている。



高級絵馬卓上カレンダー